

第 41 回医療薬学会公開シンポジウム報告

熊本大学医学部附属病院 薬剤部 齋藤秀之

平成 22 年 10 月 23 日（土）済生会熊本病院コンベンションホール（熊本市）において、熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本がん医療薬学研究会、熊本県がん診療連携協議会幹事会相談支援・情報連携部会の後援のもと日本医療薬学会第 41 回医療薬学公開シンポジウムを開催しました。本シンポジウムではがん治療の均てん化に伴い、地域に拡がりつつあるがん診療連携に焦点をあて企画しました。「地域に拡がるチーム医療～熊本県におけるがん診療連携の展開～」をメインテーマに設定し、病院・診療所等と保険調剤薬局との連携・情報共有を円滑かつ効率的に図るための体制整備や医師-薬薬連携の将来展開や課題等について、意見交換並びに病診連携充実のための情報共有を目的としました。参加者は 120 名を数え、九州内各県のみならず他の地域からも病院薬剤師、薬局薬剤師に参加頂き、地域がん医療における薬剤師の連携方法、薬剤師の役割について講師の医師も交えて活発に討論されました。

特別講演として「がん診療連携クリティカルパスが目指す地域医療連携とチーム医療」の演題で国立病院機構熊本医療センター外科・片渕茂先生からがん診療連携について熊本で展開され運用開始となったがん診療連携クリティカルパスの概要や地域連携パスにおける薬剤師の役割についてご講演いただきました。がん患者を中心として地域のチーム医療で診療を進める中でクリティカルパスが一つのツールとなって、目に見える診療計画や患者ケアに関わる医療スタッフ間の情報共有が患者自身の安心につながり、より良い医療の提供につながることを講演されました。後半では「がん診療連携における薬薬連携の役割～愛知県病院薬剤師会オンコロジー研究会の取り組み～」と題して中部労災病院薬剤部・中根茂喜先生に基調講演をいただき、がん診療に携わる講師 3 名のミニシンポジウム形式で進めました。愛知オンコロジー研究会では 3 年前から薬薬連携の分化会で情報提供不足を解消するため「化学療法治療カード」を作成し、運用後の評価に関するアンケート調査の報告、現在は保険薬局薬剤師をメンバーに加え、緩和医療における保険薬局、薬薬連携の現状を把握し、緩和領域に特化した情報提供ツールを検討中であること等、活動の紹介と薬薬連携の必要性をご講演いただきました。シンポジウムでは下記のプログラムの通り、医師の立場から薬剤師に期待することとともに学術的な共同研究にも発展し得ること、病院薬剤師の立場から熊本がん医療薬学研究会の活動現況報告や抗がん剤の副作用調査に関する連携、保険薬局薬剤師の立場から薬局薬剤師を取り巻く現状と薬薬連携の展開には優先順位があり情報共有、お薬手帳の充実、医療用麻薬の規制緩和の問題等、今後解決すべき課題についてご発表いただきました。地域連携における薬剤師の現状と今後の業務展開について幅広くかつ深く討論するとともに、現状の問題点を解消するための糸口を見いだすことができ、地域がん診療におけるチーム医療の重要性を再認識したシンポジウムとなりました。

シンポジウム開催概要

1. メインテーマ 地域に広がるチーム医療～熊本県におけるがん診療連携の展開～

2. 日 時 平成 22 年 10 月 23 日 (土) 14:00～18:00

3. 場 所 済生会熊本病院・外来がん治療センターコンベンションホール
〒861-4193 熊本市近見 5 丁目 3 番 1 号 TEL096-351-8000

主 催 日本医療薬学会

後 援 熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本がん医療薬学研究会、
熊本県がん診療連携協議会幹事会相談支援・情報連携部会

対 象 病院薬剤師・保険薬局薬剤師・薬学生・大学教員

4. 参加費 500 円

5. プログラム

14:00 開会の辞 実行委員長 齋藤秀之

14:05 特別講演 司会 熊本大学医学部附属病院薬剤部 齋藤秀之
「がん診療連携クリティカルパスが目指す地域医療連携とチーム医療」
国立病院機構熊本医療センター外科 片渕 茂

(休憩 10 分)

15:15 シンポジウム 司会 熊本赤十字病院薬剤部 福永栄子
エーピー薬局 小林祐司

基調講演『がん診療連携における薬薬連携の役割

～愛知県病院薬剤師会オンコロジー研究会の取り組み～』

中部労災病院薬剤部 中根茂喜

1. がん診療における医師-薬剤師の連携～がん診療に携わる医師の立場から～
熊本大学医学部附属病院外来化学療法室 佐々木治一郎

2. がん薬物療法における薬薬連携の役割
熊本市立熊本市市民病院薬剤部 近藤元三

3. チーム医療をめざしてー保険薬局の立場からー
薬局セントラルファーマシー長嶺 稲葉一郎

17:30 総合討論 (講師 5 名)

18:00 閉会の辞 済生会熊本病院 飛野幸子

6. 参加者数

	会員	非会員	計
病院薬剤師	70	38	118
薬局薬剤師	3	8	11
その他		1	1
合計	73	47	120

7. 日本薬剤師研修センター集合研修認定シール受領者 (2 単位) 120 名